

(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「学校教育の充実」「児童・生徒の支援体制の充実」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「人権の尊重」「歴史資産の保全と活用」においては「満足度が高く、重要度が低く」なっている。

②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「犯罪のないまちづくり」「あんしんできる高齢期の生活への支援」「就学前教育・保育の充実」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「共に生きる社会の推進」「『地域力』のあるまちづくり」においては「満足度が高く、重要度が低く」なっている。

③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「安全・安心な道路空間の構築」「快適な道路の整備」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「資源循環型社会の構築」「良好な環境の保全と創出」においては「満足度が高く、重要度が低く」なっている。

④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「勤労者福祉の増進」においては「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

「多様な交流活動の展開」においては「満足度が高く、重要度が低く」なっている。

⑤「行財政マネジメントのための基本方針」

「職員力の向上」において「重要度が高く、満足度が低く」なっている。

